

私は五月十一日の水曜日に新聞学習で、ウ
 クライナとロシアの戦争についての話を聞き
 ました。
 私はプーチン大とうりよは何かしたい
 のか全く分かりません。
 今もプーチン大とうりよが正しいと信
 じているウクライナの人がたくさんいて、何
 だかわいそうだと思います。
 そして今も戦争のせいでせな、ている
 人がいるのです。
 私はプーチン大とうりよは間違、て
 いると思います。
 地球に住んでいるほとんどの人が広島
 の戦争を知っているはず。戦争は二度と
 くり返してはいけません。
 二度とくり返したくないとい、ていた人
 達の思いが、一気にこわされた様な気がして、
 とてもいやな気持ちです。
 私は、今すぐにでも戦争をやめてほしいです。
 お年よりから、まだまだ明るい未来のある

小さい子まで、何も罪のない人が無差別に殺
されていくのを、見て見ぬふりは出来ませ
ん。私は、ウクライナに、平和がおとずれるよ
う、いつまでもいのります。

ぼくは、この話を聞いて、新聞の読み方と
 今世界が、どんなでもないことに、なっている
 事にわかりました。

ぼくは、新聞の読み方がわかりませんでし
 た。それだから、たれだれがすっぴいという事に
 おくわがらなかつたのです。このじゆ業で
 よくわかるように、なりました。そして、帰
 ってから新聞を見てみると、上島重兵さん
 が死にました。たれだれが死にました。
 ぼくは、もうびっくりしました。あんなに、
 元気で笑いにむんでくれた人が何故亡くなっ
 てしまったのだと思ひ、調々たら志村けんの死
 去かつたか、たれだれが死にました。

ぼくは、悲しみました。あんなにいい人が
 死んでしまったのかと思ひました。

そして、もう一つは、ウクライナの事です。

ぼくは、ウクライナが戦争しているんだから
 なんだと思ひました。とても大事なことに
 なんだなと思ひました。

みんな、いっしょにがんばりましょう。

ていふといふ二にもおかりました。これか
らは、TVだけてなく新聞も読んでいた
です。

新聞の意見が
 変わりました。
 私は元々新聞に
 興味がありませ
 うでした。新聞は
 今の話を知りた
 いです。しかし、
 今日の話を知り
 ました。国際社
 会について、こ
 れから、私も書
 かれたことを知
 りました。国際
 社会について、
 新聞も読むこと
 を考えました。
 次はワクレイテ
 ィンについて、
 私は友達と解決
 方法を考え、募
 金することか
 べし。トだと思
 いました。友達
 は、プロレス大
 統領を暗殺する
 ことか。私は反
 対しました。な
 らば、大統領の
 命は返してこ
 ないからです。
 加えて、モカ
 ン、苦しみがら
 死んでいって、
 ワクレイティン
 の人々、失礼だ
 と考えました。
 私は新聞やニ
 ュースでワクレ
 イティンの人々
 を知りました。
 そんな事があ
 ったのか。

私は、ウクライナの危機を
 考え、大勢がおりません。ウクライナの
 人たちが助けたいと思っても、自分たちが何
 かをしたところで、侵攻が終わることはない
 と思っています。大からです。神戸新聞のお話を聞
 いたとき、初めて自分たちが何かをしたと
 ころで、思いました。でも、直接的な侵攻を
 止め、助けることはできなくとも、ウクライ
 ナの人は、大勢を精神面で助けることはできるとの
 ことはなにかと考えました。
 調べてみると、ウクライナの国旗のカラー
 トレイト、アツアツと、施設や、ウクライ
 ナを象徴するひまわりの絵をSNSに投稿す
 るなど、さまざまな取り組みが行われています。
 た。ひまわりの絵がいたり、ひまわりを育し
 たりして、ウクライナの平和を願うというこ
 とは、私たちがもてざるのではなにかと思
 ました。この取り組みがもたらす、SNS
 や、ニコニコ、フェイスブック、日本はこ
 んな取り組み
 を行っているというところ、ウクライナの人

たちに伝わり、ほんの少しでも安心してもらいたいなと思っました。

ウケライナでは、ニコイスやSNSを見れるような状況ではない方がたくさんいると思います。少しでも多くの人に、このような取り組みが伝わり、少しでも多くの人々の命が守られることを願っています。

私は、戦争は絶対にしてはいけないことだ
と思います。戦争をしても、たくさんの人やたてものが
なくなるだけだと思いません。人がなくなるこ
とで、たくさんの方が悲しい思いをすること
になります。戦争で、またうまれたばかりの
子がいなくなったり、子ども、大人いろいろな
人が亡くなったりして、まだたくさん生き残った
未来ある子が少ししか生きることができてい
ません。

今、ロシアとウクライナでもたくさん人が
なくなっています。なので、私は、戦争中の
所や戦争がなくなるように、自分たちででき
ることを考えました。

一つ目、戦争中の所、ウクライナなどの
ぼ金をして、そのお金をやられている国へお
くる。そうすることによって、そのお金をつ
かい、食べ物など、少しでも守りをつよくし
たりで役だてると思いたし、ぼ金ならコンピ
ニなどの店で、おいておいて、少しずつでも

お金がたまると思えます。

この、ぼ金だけでも私たちは、少しでも力
になれると思えます。なので私は、戦争への
ぼ金の箱をみつけたら、少しずつでもぼ金し
ていこうと思えます。

戦争についてのじやぎやうをきき、私は、
戦争は本当におそろしいことなんだなとあら
ためて思いました。

私は神戸新聞の方に色々なことを教わった
り、考えたりしました。
その中で私は、ロシアとウクライナの戦争
で、今、私達にできること」を考えました。
思い浮かんだことが二つあります。一つ目は
ウクライナに募金をすること。大切だと思
いました。なぜなら、ウクライナの人達は今、
自由な生活を送ることができていないと思
し、子供たちは、学校にも行けていない状態
で、今、私達がふつうに生活をしているかウク
ライナの人達は制限がある中での生活をして
いるわけです。だから、募金を少しでもする
ことによつて少しでもウクライナの人達の力
になれると思うし、らかな生活を送ること
ができると思つたからです。
二つ目は、支援です。ニョースや新聞など
を見て、今はロシアとウクライナがどのよ
うな状態かをしっかりと確認し、今自分にでき
るウクライナの支援の取り組みを何事にも取
り組んでいくこと。少しでも、らかな生活に

もどってほしいと思っただからです。
私は、神戸新聞の方に来てもらいます。この学ん
々なことを学ぶことかできました。この学ん
だことはしっかりと成長につながっていくたい
と思いました。

私は、ウクライナとロシアの戦争を早く終わらせるには、ロシア軍の人に戦争をやめてもらう。たえ続けることです。大勢でうたえまくたら、ロシア軍の人々も、あきらめて戦争を終わらせると思います。

次の案は、ウクライナに募金をする事です。ウクライナは、今、ボロボロに壊われている。物資なども無い。テレビで見ているので、募金でもしたら、ウクライナが、少しづつ楽になると思います。

次に感想です。私は、ウクライナとロシアの戦争の記事を見て、私たちは他人事では無い気がします。この戦争が始まり、ガリリンが、高くなったり、困どつしの仲間割れで、物資が高くなったり、したりします。何より、私たちが、同じ人間になせ、関係の無い人々の命が亡くなっているのと、同じ人間として、少し深く考えました。

最後に、どうして人は、同じ人を殺すのてしょう。同じ命には変わりないと私は思っている。

ます。命は一人につきしかない尊いものだ
と思っ
ているので、戦争は、
すぐに終わっ
て
ほしい
と思
います。

ぼくは授業でロシアとウクライナが戦争を
していることについてくわしく教えてもらい
ました。

まず、戦争は今、ロシアとウクライナの戦
争が話題になっていますが、本当はもっとち
がう国でたくさん戦争をしているそうです。
なのでそう考えると「日本は平和だな」と思
います。

現在ロシアとウクライナは約3か月ほど戦
争をしていますが、なぜ戦争をしているかと言
うとウクライナの土地を取ろうとしているか
らです。でもヨーロッパでは土地を取ろうとし
ているだけなのにロシア軍はふつうに歩いて
いるウクライナ人を容赦なく殺しています。
おんの罪もない人を殺すのは本当に良くない
です。それに戦争をしているせいで、ウクラ
イナが輸出している原油などが輸出されなく
なり値段がとて高くなっています。例えば
レギュラーのガソリンが3か月くらい前は
百五十円だったのに百七十円になったりして

います。ウクライナだけでなく他の国にも迷
惑だなと思っただし、ロシアの人たちはいやな
人だなと最初はそう思っていました。しかし
実はロシアの住民たちはほとんど戦争を反対
していました。しかも、いっしょに戦争をし
ているロシア軍はこっさり取材を受けてこう
言っていました。『プーチンは最底だ。ほと
んど人は戦争を求めていないのに戦争をし
ると言っている。本当はウクライナの住民を
申りたいと言っていました。これを見た時、
プーチンをどうにかしないといけないと思
いました。プーチンは約20年大統領をしてい
るそうです。今後どうなるかわかりませんが
一日でも早く戦争が終わってほしいです。日
本もいつか戦争するときが来るかもしれませ
ん。そのときどう対処するかよく考えらな
い。そして、ウクライナの人たちがまたい
つもうりの生活にもどってほしいと願っ
ています。

ばくは、新聞記者さんの話をきいて、分か
 ったことが、2つあります。
 まず一つめが、今ウクライナとの争いでお
 きていることそして、ウクライナがロシアが
 つがつている、SNSの、デマ情報などで、
 今ウクライナでは、争いがお起きている、それ
 はどのくらいかと言った、新聞の級々判定度が
 ウクライナとロシアの争いについてかかれて
 いて、ウクライナでなにがおこったのか、そ
 のでさ事による、影響がなくなのか、あと残
 リの3割は、今さらに人数が増えていて、コ
 ロナウイルスです。ウクライナの語の中には、
 デマ情報がないか、ウクライナの大統領
 領は、デマ情報が流れたあと、私は、ここ
 いるという、デマ情報が流れたとすぐには本
 ましたの
 ろして、2つ目が、この戦争がウクライ
 ナ政府は、SNSを利用するのがそれは、自
 分の中では、デマ情報をウクライナがわか
 かうためだと思ひました。でも本当は、今自分

たちになにかおきているのか、そして、今私
たちは、ウクライナ政府からみて、どんなこ
とをしているのかなどの事でした。このよう
なことが授業で得ることができました。

ぼくは戦争の話などを聞いて現在日本は
 戦争していません。
 けいいつ戦争が始まってもおかしくありません。
 人。
 いっミサイルが飛んでくるかもわかりません。
 今戦争をやっている害がたくさんでいてい
 ます。
 そのため、ふっこうがおずかしかったり、今
 は、食材もないです。
 そでびくたちか、協力がさることは、ぼく
 キヤソブ集めなど。
 因は、カンツメなどをウクライナにおくって
 います。
 ぼくは、これをきかけに、町に協力しよう
 と思います。
 戦争明けのことはなくふだんの生活をみ
 なおして、ゴミ拾い、カンなどがリサイクル
 なおせか人がえて、ぼくのふだんの生活をみ
 なおして、活動しています。
 まさか、ぼくの人生の中で戦争がおきると

は、思いませんでした。
 や、やはり人はなにかおきるかわからないなと
 思いました。
 ぼくが戦争について思っていることは、ど
 人だけ、平和、楽しくてもいさなり、戦争が
 おきるかもしれないし、いきなりミサイルが
 飛んでくるかもしれない。
 いくら国の調子がよくなっても他の国からの印
 は、いいとは、かぎらない。
 正直戦争に協力できることは、ぼくたちは
 せいぜい一つ、二つぐらいだと思ってる。
 ぼくたちができる協力は、全力でつたいた
 いです。
 何もしてないよりは、一回や二回してウワラ
 イナに頑張ってほしいです。
 土留といつしよに、応因活動をして、すこし
 でも役に立てたらなと思ってきました。
 今回のじゃあおもしろいところして、他の国見て
 今どい人ないよろきよろかを友達と考え、意見
 を求むたりし、いろいろ考え、考えがでて、い
 いけいけ人ができたと思ってきました。

ぼくは、新聞について授業を受けて、新聞の良いたころなどの様々なることを教へてもらいました。そのことについてお考えを書かしていただきます。この授業では、もうろ性、一覽性、信頼性の三つの良い点を教へてもらいました。ぼくは、この三つの良いところを教へてもらいました。たかもしれない言葉の時代に新聞は字介。たかもしれない言葉が大きいのです。しかし、新聞にはネットニュースという存在が大きいのです。しかし、新聞にはネットニュースという存在が大きいのです。なぜなら、ネットニュースでは情報の信頼性が新聞にあるに比べて、実際にはネット上でばデマ情報も散見されたりします。このよな理由から、ぼくは、一覽性、もうろ性、信頼性の三つの良い点があるならば、今の時代まで、ぼくは、新聞が字介、たかもしないと思います。これからは、新聞を讀んでおぼくは、

よう
う
と
思
ひ
ま
し
た

私は、この授業を受けて、初めて新聞を見た時を思い出してみました。初めて新聞を見た時「東日本大震災」というワードに興味を持ちインターネットで調べてみました。地震ということが分かって新聞を読んだことをきっかけに防災についてもっと知りたいたいという気持ちになりました。もしこの時私が、新聞を読んたければ、防災についてもっと知りたいたいという思いもなかったと思います。これをきかけに新聞は、もうらせい網羅性、一貫性、信頼性の他にその情報に対して興味を引き出す力も持っているなと思いました。

ロシアとウクライナの戦争ですが、日本も昔太平洋戦争をしてたくちんの人命を失した。残念な結果しか扱きません。私がいいたいことは、これ以上人の命をうばおない下ほしいという事です。今はコロナ週とこうすることもあってたぐさんの人か亡なられていきます。自分の国の人を守れるのにならぬ他の国の関係ない人までかおらおれるのが

か不思議だ。ロシアとウクライナはたかいの
国を理解してこの世の中を平和にしたいてま